

J O M A 通信

Japan Overseas Missions Association

海外宣教連絡協力会
公報

No. 44

1995年 J O M A 総会・メッセージ

「アフリカにおける宣教」

エマヌエル・オラディボ（聖書同盟国際主事）

聖書同盟は二つの分野で活動しています。すなわち、伝道と聖書通読運動です。前者に関しては、しばしば等閑にされている子どもと青年たちへの伝道に重点を置いて、あらゆる可能な場所で伝道しています。後者に関しては、聖書通読の手引きを多くの国語で出版しています。聖書同盟は規約の第一に述べてあるように、教会と協力して奉仕しますが、128年前に英国で誕生し、現在、117カ国で活動しています。また、外部から助けるのではなく、その国々の中で活動できる体制を取っています。私は、そうした働きの纏め役で、聖書同盟の国際総主事として、ここ3年間、イギリスに在住しています。

さて今朝は「アフリカにおける宣教活動」について語ります。宣教師たちによって福音はアフリカにもたらされました。そのお陰で、アフリカでは過去に福音が語られ、現在も語られていて、将来とも語られ続けるでしょう。

ルカ13章 1節から 4節をお読みします。ここには、2つの悲劇の記事があります。ある悲劇は、他の悲劇に比して一層受け入れることが難しいことがあります。シロアムの塔が倒れたとありますが、原因は解かりません。地震によったのか、設計に問題があったのか、施工に手抜きがあったのか、人間が止めることのできない神の業だったのか、解りません。エチオピアは度々干魃・飢饉に見舞われますが、雨が降らないからで、人間の過ちによるものではありません。勿論、家畜を無計画に増やして、それで家畜が草木を根こそぎ食べてしまい、飢饉となるという人為的な災いの面もあります。もう

一つの悲劇は、前者と異なり、人の心の邪悪さがもたらしたものです。人々は礼拝のために神殿に行っていたので、祝福を求めていたのに、殺害されてしまいました。

最近の日本での震災の悲劇の故に、お慰めを祈ります。神は時として、人をへり下らせ、神に依り頼むようにさせなさいます。もう一つの悲劇、サリン事件は、人の心の邪悪さがなせる業です。その邪悪な人の心にキリストの愛が注がれる必要があります。ある説教者は神の祝福のみを宣べ伝えますが、みことばは、神の子たちにも苦難があると言っています。聖書にはヨブの物語もあるのです。苦難は通常の人生の一部なのです。

アフリカでは、苦難が余りにも多く、時として、もう祈っても無駄という感もします。エチオピア、アンゴラ、そしてモザンビークと問題から問題が続きます。何が問題なのでしょう。何故このような問題が起こるのでしょうか。

ルカ13章で主イエスは矛盾しているに見える二つの答えを与えています。2節と4節には、悲劇は彼らの罪のゆえではなかったと言っておられます。しかし、5節には「悔い改めないなら、」と言っておられるのです。私たちは、罪によって破壊された世界に生きているのです。アダムの子、また、代々の罪を受け継いだ人間の罪の世界に、です。

6節に主イエスは農夫のことを語っておられます。神はイスラエルを国家として植え付けなさいました。結実のないイスラエルに、主イエスは今しばしの時を与えられました。種蒔きのたとえに

よると、種の落ちた4種類の土地がありますが、ルカ13章のいちじくは、道ばたに落ちた種ではなく、岩地に落ちたのでも、いばらの中に落ちたのでもありませんでした。大きく育ち、根も深く張っていました。しかし、今なお、実が実っていなかったのです。

アフリカの諸教会は、宣教師たちの、初期の時代の犠牲的な活動を通して、死を乗り越えて送られ続けた彼らの活動のゆえに、現在は堅立しています。勿論、北アフリカにおける初期の宣教活動は深く根ざさなかったため、イスラムに根こそぎにされてしまいました。しかし、近代における宣教の結果、アフリカにおいて、教会という木は大きく育ち、深く根ざしています。回心を通してクリスチャンになる人々の数は、4人の妻帯を認めるイスラム教徒の自然増を凌駕しています。教会は大きな木として育っているのです。そして、聖書同盟もその成長の一翼を担っています。アフリカの42カ国で活動し、これらの働きは、それぞれの国の働き人によって為されています。ナイジェリアでは600人の予定のところに、1600人ものがバイブル・キャンプに集いましたし、ザイールでは2週間も歩いてキャンプに参加する人々がいます。経済が破綻し、教材の支払いができませんので、穀物や野菜などの現物を持ってきます。

ある宣教団体では、アフリカ人の能力を

評価しないで、依然として植民地時代のような対応をして、現地の指導者を興していません。聖霊は、アフリカ人の心にも御業を為し得たものです。現地人指導者を育成するという点では、聖書同盟は賞賛に値します。

教会という木は、アフリカで大きく育ちました。しかし、期待された結実を見せていません。ルカ3章には、バプテスマのヨハネが登場していますが、悔い改めの実を示すように語っています。どのようにして、悔い改めの実を示すことができるのでしょうか。衣を与えなさいとは、富を分かちなさいと言うことです。取税人は、人々を抑圧しないように、不正直でないように言われています。そして、兵士たちは、食欲でないように、正義を行うように期待されています。アフリカは、その資源においてはまことに豊かです。金、ダイヤモンド、原油を多く産出します。大きく育った木の一部であるのに、政治家たちは災いです。彼らは非常に富んでいて、巨額の私財をスイスなどの銀行などに送金しています。しかし、彼らは不正直で、自分の国を破壊しています。兵士たちも食欲です。

どうぞ、アフリカの教会のために祈ってください。アフリカの教会が、実質あるクリスチャンたちを生み出すことができますように。社会に強い影響を与えるようなクリスチャンが生み出されま

すように（通訳：稲垣博史師、抄録：平位全一）。

1995年度・総会報告

I デヴォーション：11:00--

A 司会：森 正義師（SU）

B 祈祷：谷下信之師（福音自由）

C 奨励：EMMANUEL OLADIPO

師（SU国際主事）

ルカ 13:1-9（メッセージの

内容は、第1、2面に記載）。

II 愛餐：12:30--1:30 p.m.

III 報告・その他：

A 祈祷：芳賀 正師

B 点呼・オブザーバー紹介

C 議長・書記選出

1 議長—森正義師（SU）

2 書記—平位全一師（IGM）

D 前回議事録承認

E 報告

1 各団体報告（別紙）

2 1994年度活動報告—

平位全一師（事務局）

a 実務者懇談会

b JOMA通信

c JOMA世界地図に
関して

3 会計報告（別紙）—
小平牧生師（基督兄弟団）

E 以上報告を承認する。

III 議事：

A 1995年度計画案承認

1 東北青年宣教大会一後

援に到る経緯説明の後、承認。

- ・¥50,000 を講師派遣のために援助する。
- ・場所：田沢湖畔
- ・日時：5月3--5（水一金）
- ・テーマ：「東北から世界へ」

2 25周年記念宣教大会

- ・日時：11月18--20（月一水昼）
- ・場所：未定。夜の宣教大会に信徒の出やすい

場所で。

- ・共催に関してJEA理事会承認済み。
- ・クリスチャン新聞にも接触する。

3 JOMA世界地図一今後、PBAオフィスでの制作準備は無理。

4 JOMA通信一年2回発行。

B 役員団体改選：

- 1 継続一聖書同盟 PBA
- 2 新規一OMF

同盟福音が困難との由で、もう1団体はアッセンブリーズ・オブ・ゴッドに。

C 1995年度予算案承認（別頁）

D 規約・細則改正（別紙）

H PBAオフィス内にJOMA事務所を設ける件に関し、本年度に関してはPBAの了承を得た。

I 閉会一祈祷：小平牧生師
16:00 p.m.

JOMA役員会 (総会直後)

日時：1995/4/24（月）

4:15--5:00 pm

場所：お茶の水IGM応接室

出席：JOMA一森 正義師、芳賀 正師、中川信義氏、平位全一師

JEA 一 稲垣博史師

議事：議長一森 正義師

A 中川信義氏の祈祷の後、本年度の役員分担を以下のように定める。

会長一森 正義師（SU）

副会長一アッセンブリーズオブ・ゴッドからの代表（山田 亘師？）

書記一OMFからの代表（牧野直之師？）

会計一中川信義氏（PBA）

B 次回役員会日程

- ・日時：6月6日（火）
- 2:30--4:30

・場所：お茶の水・PBA 応接室

C JEA国際委員会への役員出席の件：

- ・JOMA：平位全一師
- ・次回日程：6月30日（金）2:30--5:00

D 東海宣教セミナーへのJOMA関係団体資料展示
・各団体に連絡する
・JOMA世界宣教地図を委託販売する案

E 25周年記念宣教大会に関して：

- ・教職者対象のセミナーと信徒対象の宣教大会との日程を次のように分けて、2段階えとしては：

・セミナー：11月18--20（月一水昼）

・宣教大会：11月22日（金夜）

・会場：湘南国際村（葉山）

を交渉する。

・JEAの協力を得る。
・教会指導者の声を吸い上げて宣教に生かすこと。

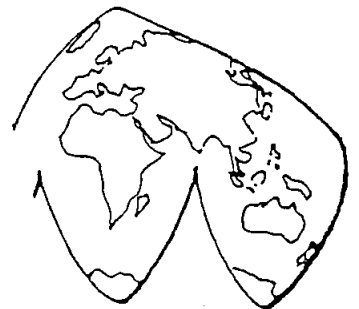
・若い教役者に宣教のヴィジョンを。

・セミナーのための講師：
・中村 敏師
・神学校の宣教学の担当教師

・帰国中の宣教師

・プログラム作成のためのアイデアを幅広く得る：
青野師、原田師、平田師、日置師など。

F 閉会：祈祷一平位全一師



1994年度決算・1995年度予算



【収入の部】

	1994年予算	1994年決算	1995年予算
会費	864,000	996,000	1,080,000①
献金	150,000	79,591	100,000
雑収入	350,000	349,581	50,000
地図		269,081	
書籍		6,000	
その他		74,500④	
前年度繰越	112,633	64,633	251,437
合計	1,476,633	1,489,805	1,481,437

註：

- ① ¥60,000X18団体の会費
- ② 25周年宣教大会準備金
- ③ JOMA通信：年2回発行：印刷代
- ④ 94年度セミナー収入
- ⑤ 東北青年宣教大会・講師派遣費

【編集後記】

【支出の部】

	1994年予算	1994年決算	1995年予算
セミナー費	50,000	48,760	300,000②
文書費	300,000	332,690	110,000
地図	190,000	195,700	0
JOMA通信	110,000	136,990	110,000③
役員会費	20,000	16,400	20,000
事務所費	600,000	600,000	600,000
事務費	200,000	238,270	250,000
総会費	100,000	2,248	100,000
青年宣教大会準備金	50,000	0	50,000⑤
予備金	156,633	0	51,437
小計	1,476,633	1,238,368	1,481,437
繰り越し	0	251,437	0
合計	1,476,633	1,489,805	1,481,437

★ 加盟団体は、現在18です。

「JOMA世界宣教地図」をご覧ください。残部が、500部になりました。ご注文は、PBA中村姉にどうぞ。一部：¥200.-。

★ 1995年度から、月額¥5,000になりましたので、よろしくご理解くださりご協力をお願いします。

★ 会費の納入、また、常時のご連絡はPBA・中村姉へ。そして、緊急のお問い合わせは：平位全一師へ
インマヌエル東大和キリスト教会
TEL. 0425-64-1498
FAX 0425-64-1499

★ 来る1996年は、JOMAにとって、【創立25周年】の年となります。過去25年間になろうとする世界宣教を通しての、諸々の宣教団体・教会の宣教に携わる方々との主にある交わりを感謝いたします。

皆さんの教会の掲示板に

JOMA世界宣教地図

は、掲げてありますか。

¥200円/一枚

注文は：JOMA事務局へ

発行：海外宣教連絡協力会(JOMA)

発行者：森 正義

住所：101東京都千代田区

神田駿河台 2-1, OCC内

太平洋放送協会気付

TEL 03-3295-4921

FAX 03-3233-2650